

**第 8 次葦崎市総合計画策定に向けた
調査報告書
～子育て世代アンケート調査 編～**

(1) 実施概要

子育て世代アンケート調査

- ・実施日：2025（令和7）年10月20日～11月7日
- ・配布対象：子育て支援センター利用者、あんしんメール利用者（市内小・中学校に通学する子どもがいる保護者）、市内保育園・幼稚園に通園する子どもがいる保護者
- ・実施方法：WEB フォームにて回答
- ・回収数：622 件

(2) 結果概要

子育て世代アンケート調査（622人）

<居住地の選定理由>

「配偶者の出身地であるため」が32.6%と最も多く、次いで「生まれ育った地元で、ずっと住んでいるため」が21.4%

<転居したきっかけ>

「結婚したとき」が27.3%、次いで「就職・転職をしたとき」が11.7%

18歳～20歳代においては、「結婚したとき」と「子どもが生まれたとき」が40.0%と最多

<満足している子育て支援策>

「子ども医療費助成事業」が70.5%、次いで「学校給食費支援事業」が67.6%で、年代に寄らず高い

<不満を感じている子育て支援策>

「子育て・女性活躍応援」が33.9%、次いで「子どもに優しい社会づくり事業」が32.1%

<地域の子育て世代同士や住民とのつながり>

若年層は交流が少なめ、年齢が上がるにつれて、地域行事参加など世代同士や住民とのつながりを感じている人が多い

<住み替え意向>

「5年以内の住み替え」市内3.5%、市外1.9%、また「将来住み替えの予定あり」15.1%
その理由は、「仕事・学校・家庭の事情」が最多、次いで「住宅事情（日当たり、土地の確保、家賃など）が良くない」

<子育てをする上で市に望むこと>

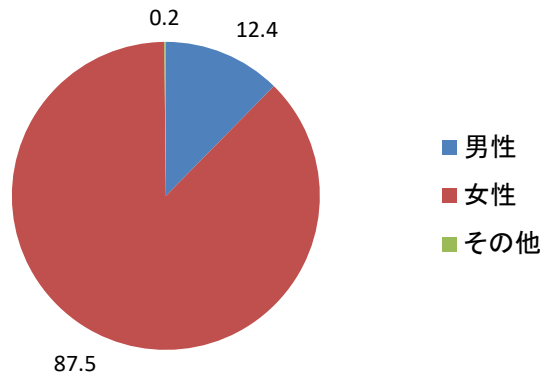
「教育・学習環境」「経済的支援・金銭的負担軽減」「遊び場・施設の充実」が多い

(3) 子育て世代アンケート結果

① 性別

「女性」が 87.5%と最も多く、次いで「男性」が 12.4%、「その他」が 0.2%となっている。

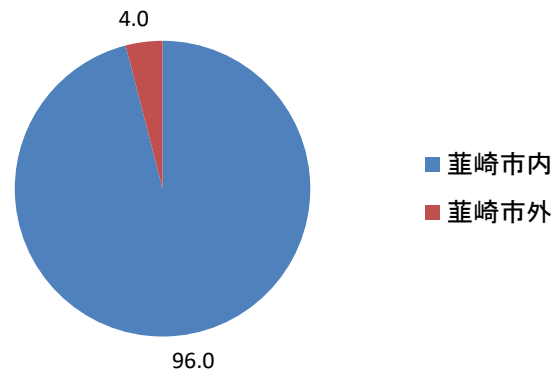
	件数	比率
総数	622	100.0%
男性	77	12.4%
女性	544	87.5%
その他	1	0.2%



② 住まい

「葦崎市内」が 96.0%と最も多く、次いで「葦崎市外」が 4.0%となっている。

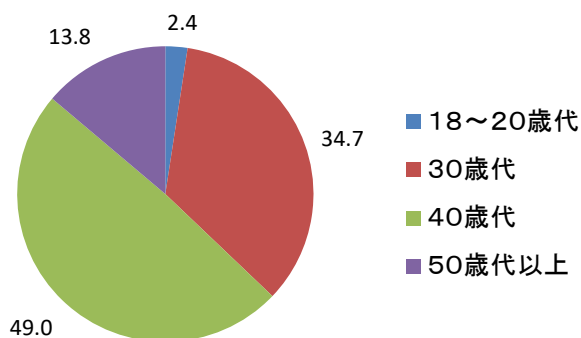
	件数	比率
総数	622	100.0%
葦崎市内	597	96.0%
葦崎市外	25	4.0%



③ 年代

「40歳代」が49.0%と最も多く、次いで「30歳代」が34.7%、「50歳代以上」が13.8%、「18～20歳代」が2.4%となっている。

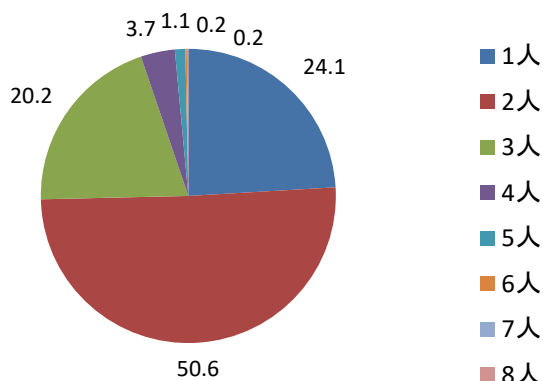
	件数	比率
総数	622	100.0%
18～20歳代	15	2.4%
30歳代	216	34.7%
40歳代	305	49.0%
50歳代以上	86	13.8%



④ 子どもの人数

「2人」が50.6%と最も多く、次いで「1人」が24.1%、「3人」が20.2%、「4人」が3.7%となっている。

	件数	比率
総数	615	100.0%
1人	148	24.1%
2人	311	50.6%
3人	124	20.2%
4人	23	3.7%
5人	7	1.1%
6人	1	0.2%
7人		
8人	1	0.2%



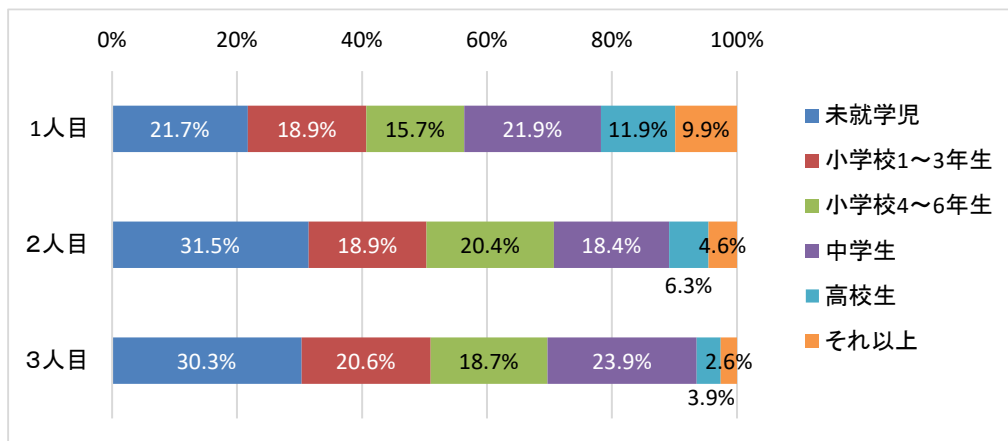
⑤ 子どもの年齢

1人目は「中学生」が21.9%と最も多く、次いで「未就学児」が21.7%、「小学校1～3年生」が18.9%、「小学校4～6年生」が15.7%となっている。

2人目は「未就学児」が31.5%と最も多く、次いで「小学校4～6年生」が20.4%、「小学校1～3年生」が18.9%、「中学生」が18.4%となっている。

3人目は「未就学児」が30.3%と最も多く、次いで「中学生」が23.9%、「小学校1～3年生」が20.6%、「小学校4～6年生」が18.7%となっている。

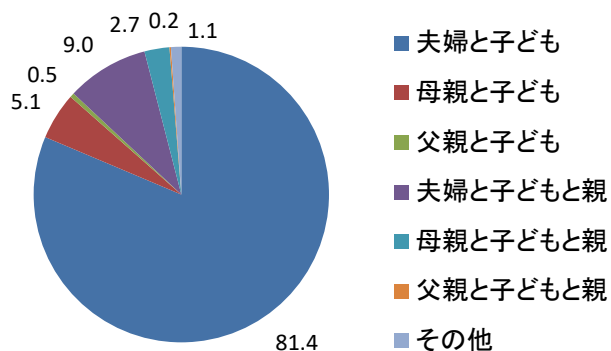
	件数			比率		
	1人目	2人目	3人目	1人目	2人目	3人目
総数	607	461	155	100.0%	100.0%	100.0%
未就学児	132	145	47	21.7%	31.5%	30.3%
小学校1～3年生	115	87	32	18.9%	18.9%	20.6%
小学校4～6年生	95	94	29	15.7%	20.4%	18.7%
中学生	133	85	37	21.9%	18.4%	23.9%
高校生	72	29	6	11.9%	6.3%	3.9%
それ以上	60	21	4	9.9%	4.6%	2.6%



⑥ 家族構成

「夫婦と子ども」が81.4%と最も多く、次いで「夫婦と子どもと親」が9.0%、「母親と子ども」が5.1%、「母親と子どもと親」が2.7%となっている。

	件数	比率
総数	622	100.0%
夫婦と子ども	506	81.4%
母親と子ども	32	5.1%
父親と子ども	3	0.5%
夫婦と子どもと親	56	9.0%
母親と子どもと親	17	2.7%
父親と子どもと親	1	0.2%
その他	7	1.1%



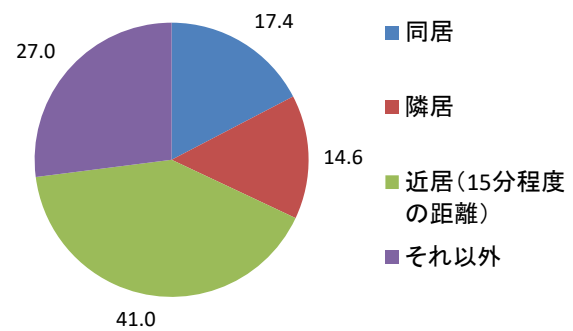
<その他>

- ・父母(夫婦)と祖母(親)
- ・父母と子どもと父兄

⑦ 親世帯との同居状況

「近居(15分程度の距離)」が41.0%と最も多く、次いで「それ以外」が27.0%、「同居」が17.4%、「隣居」が14.6%となっている。

	件数	比率
総数	622	100.0%
同居	108	17.4%
隣居	91	14.6%
近居(15分程度の距離)	255	41.0%
それ以外	168	27.0%



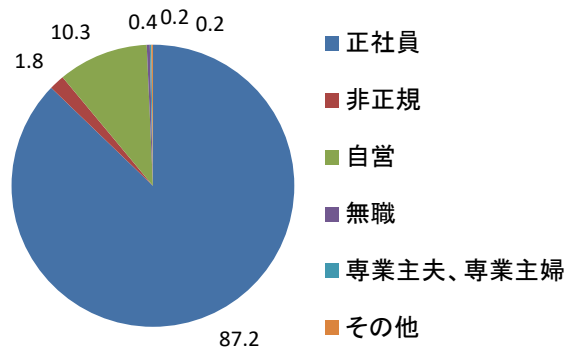
<その他>

市外・県内、県外・他県、海外、介護施設、死別

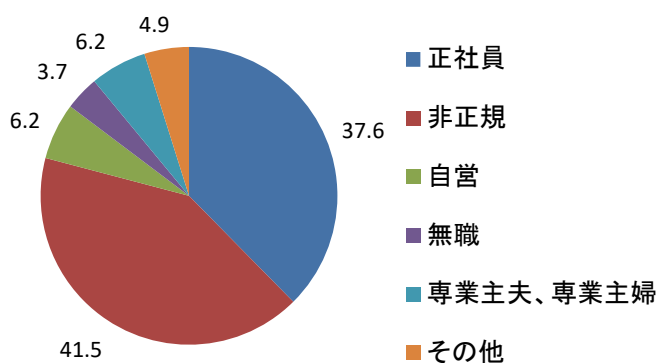
⑧ 勤務状況

父親は「正社員」が87.2%と最も多く、次いで「自営」が10.3%、「非正規」が1.8%、「無職」が0.4%となっている。母親は「非正規」が41.5%と最も多く、次いで「正社員」が37.6%、「自営」「専業主夫、専業主婦」が6.2%となっている。

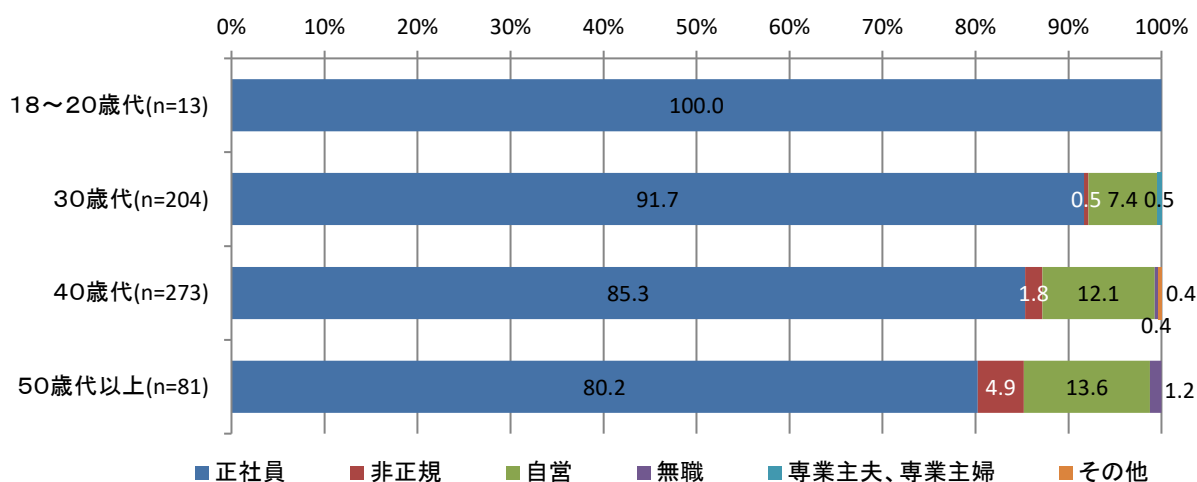
<父親>	件数	比率
総数	571	100.0%
正社員	498	87.2%
非正規	10	1.8%
自営	59	10.3%
無職	2	0.4%
専業主夫、専業主婦	1	0.2%
その他	1	0.2%



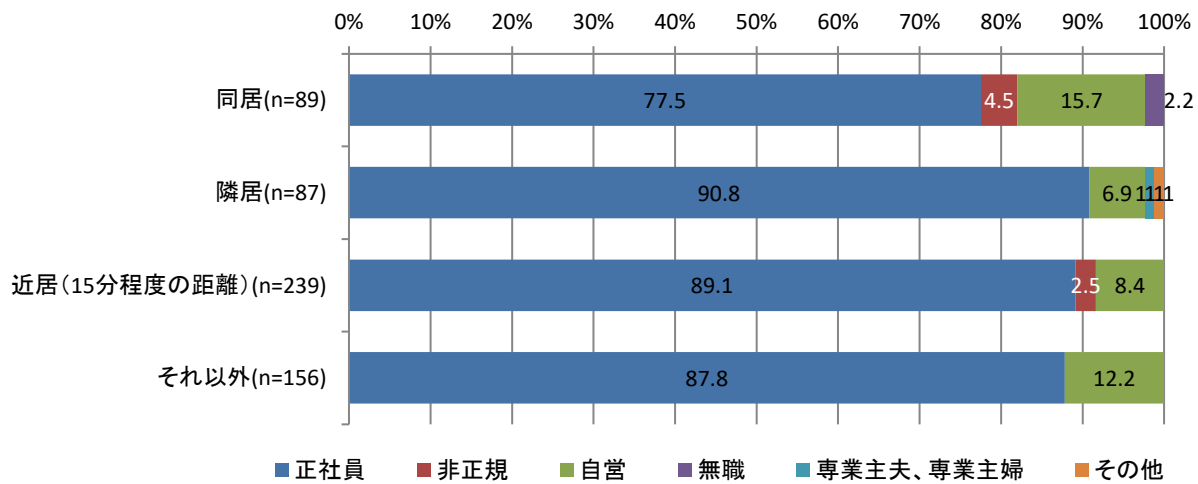
<母親>	件数	比率
総数	617	100.0%
正社員	232	37.6%
非正規	256	41.5%
自営	38	6.2%
無職	23	3.7%
専業主夫、専業主婦	38	6.2%
その他	30	4.9%



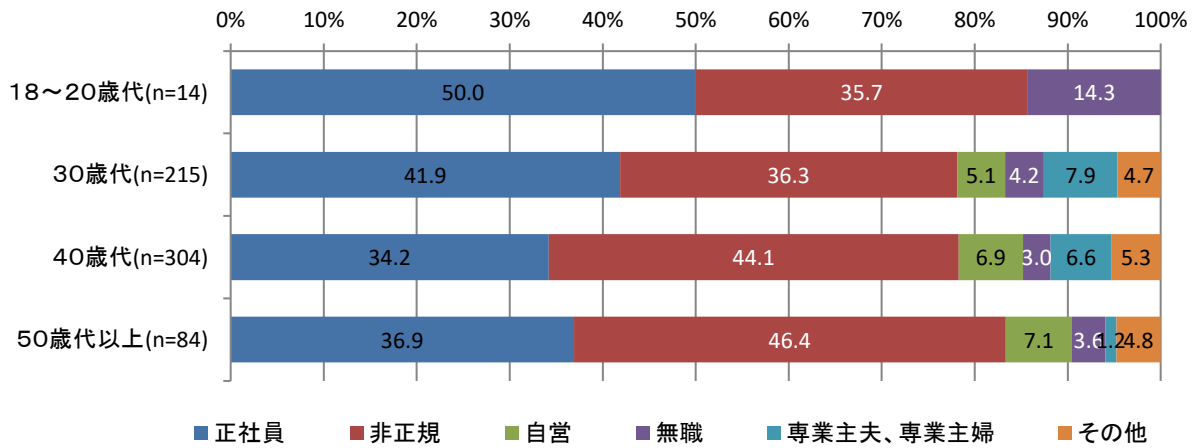
■年齢別父親の勤務状況



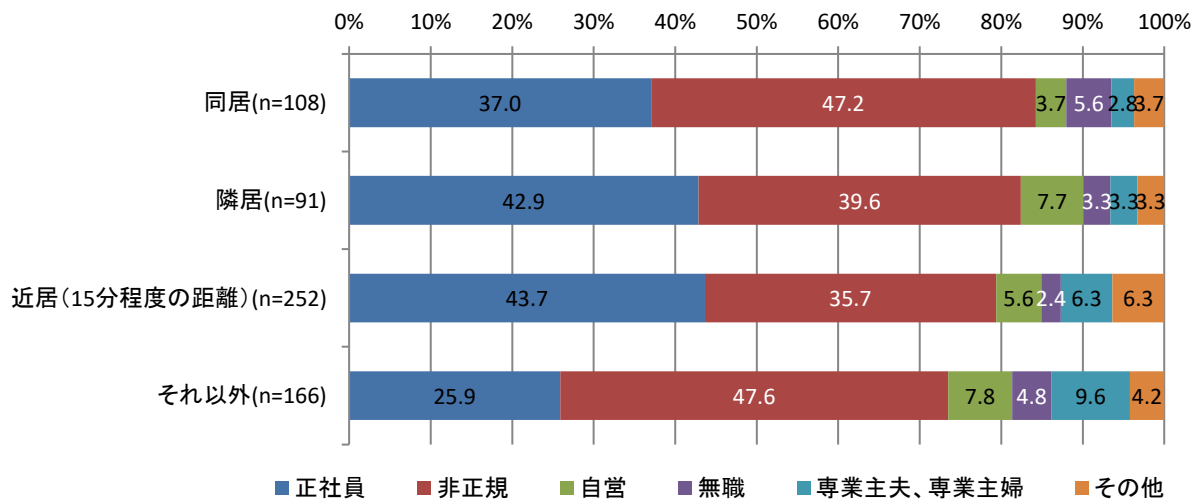
■親との居住状況別父親の勤務状況



■年齢別母親の勤務状況



■親との居住状況別母親の勤務状況

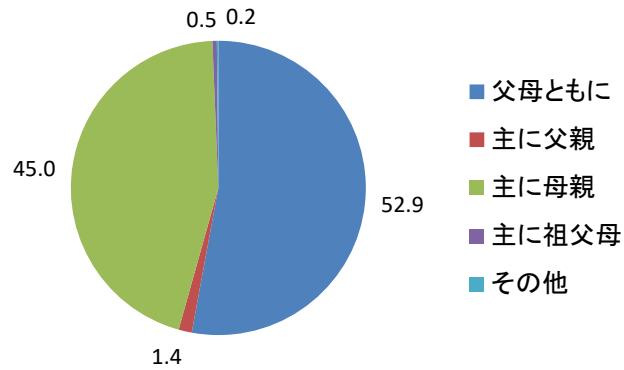


⑨ 子育てを主に行っている人

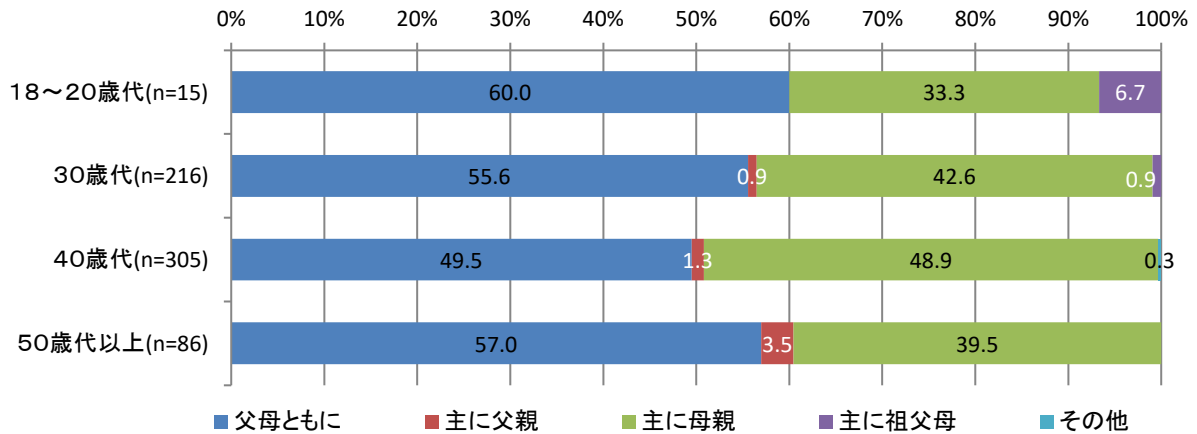
「父母ともに」が52.9%と最も多く、次いで「主に母親」が45.0%、「主に父親」が1.4%、「主に祖父母」が0.5%となっている。

18歳～20歳代が父母ともに子育てを行っているという回答が60.0%と最も多い。

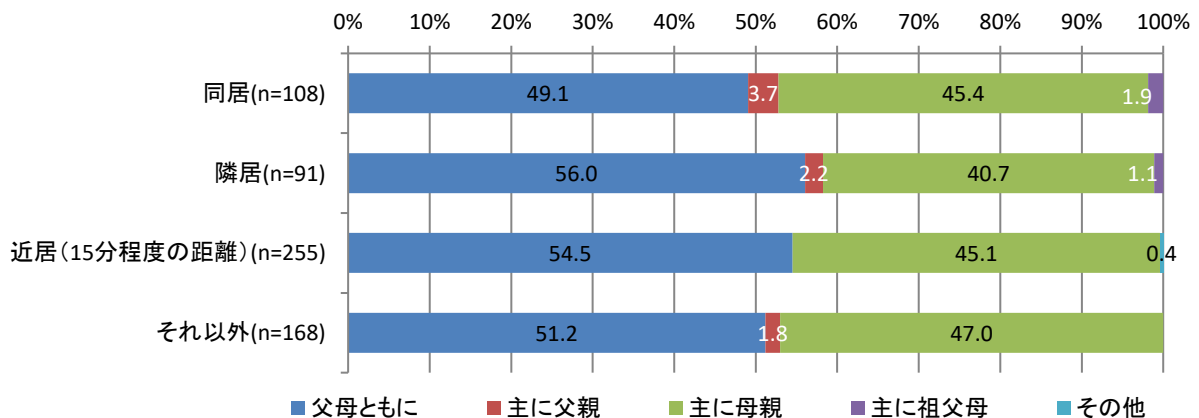
	件数	比率
総数	622	100.0%
父母ともに	329	52.9%
主に父親	9	1.4%
主に母親	280	45.0%
主に祖父母	3	0.5%
その他	1	0.2%



■年齢別



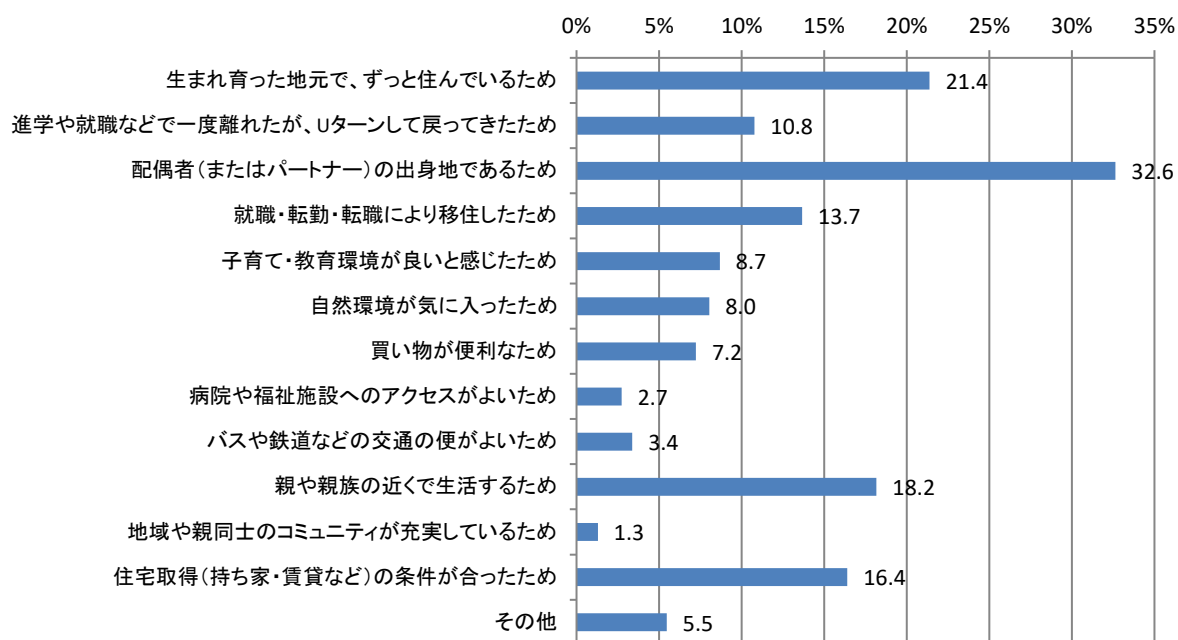
■親との居住状況別



⑩ 居住地の選定理由

「配偶者(またはパートナー)の出身地であるため」が 32.6%と最も多く、次いで「生まれ育った地元で、ずっと住んでいるため」が 21.4%、「親や親族の近くで生活するため」が 18.2%、「住宅取得(持ち家・賃貸など)の条件が合ったため」が 16.4%となっている。

	件数	比率
総数	622	100.0%
生まれ育った地元で、ずっと住んでいるため	133	21.4%
進学や就職などで一度離れたが、Uターンして戻ってきたため	67	10.8%
配偶者(またはパートナー)の出身地であるため	203	32.6%
就職・転勤・転職により移住したため	85	13.7%
子育て・教育環境が良いと感じたため	54	8.7%
自然環境が気に入ったため	50	8.0%
買い物が便利なため	45	7.2%
病院や福祉施設へのアクセスがよいため	17	2.7%
バスや鉄道などの交通の便がよいため	21	3.4%
親や親族の近くで生活するため	113	18.2%
地域や親同士のコミュニティが充実しているため	8	1.3%
住宅取得(持ち家・賃貸など)の条件が合ったため	102	16.4%
その他	34	5.5%



■年齢別

	総数	生まれ育った地元で、ずっと住んでいるため	進学や就職などで一度離れたが、Uターンして戻ってきたため	配偶者（またはパートナー）の出身地であるため	就職・転勤・転職により移住したため	子育て・教育環境が良いと感じたため	自然環境が気に入ったため	買い物が便利のため	病院や福祉施設へのアクセスがよい	バスや鉄道などの交通の便がよい	親や親族の近くで生活するため	地域や親同士のコミュニティが充実しているため	住宅取得（持ち家・賃貸など）の条件が合ったため	その他
総数	622	133	67	203	85	54	50	45	17	21	113	8	102	34
18～20歳代	15	8	0	3	3	1	2	0	0	0	3	0	2	0
30歳代	216	50	28	78	28	13	15	15	7	7	37	3	41	8
40歳代	305	64	31	93	42	30	26	23	8	10	60	3	41	18
50歳代以上	86	11	8	29	12	10	7	7	2	4	13	2	18	8
総数		21.4%	10.8%	32.6%	13.7%	8.7%	8.0%	7.2%	2.7%	3.4%	18.2%	1.3%	16.4%	5.5%
18～20歳代		53.3%	0.0%	20.0%	20.0%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	13.3%	0.0%
30歳代		23.1%	13.0%	36.1%	13.0%	6.0%	6.9%	6.9%	3.2%	3.2%	17.1%	1.4%	19.0%	3.7%
40歳代		21.0%	10.2%	30.5%	13.8%	9.8%	8.5%	7.5%	2.6%	3.3%	19.7%	1.0%	13.4%	5.9%
50歳代以上		12.8%	9.3%	33.7%	14.0%	11.6%	8.1%	8.1%	2.3%	4.7%	15.1%	2.3%	20.9%	9.3%

■親との居住状況別

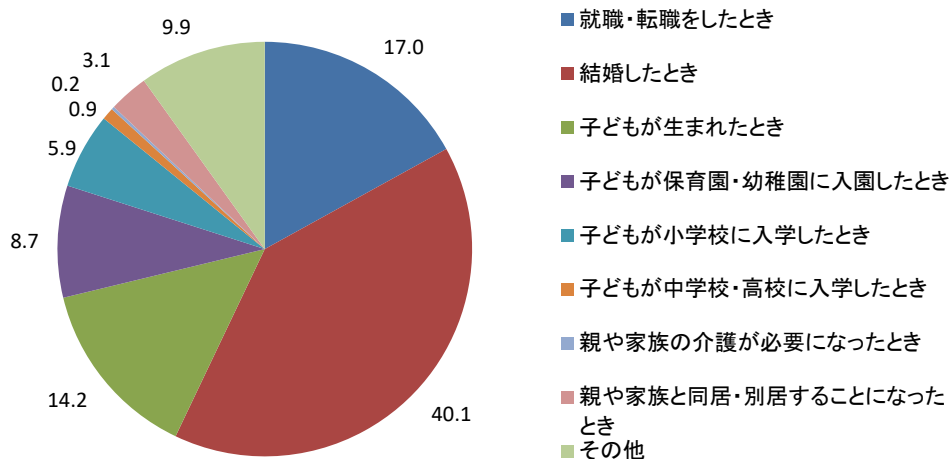
	総数	生まれ育った地元で、ずっと住んでいるため	進学や就職などで一度離れたが、Uターンして戻ってきたため	配偶者（またはパートナー）の出身地であるため	就職・転勤・転職により移住したため	子育て・教育環境が良いと感じたため	自然環境が気に入ったため	買い物が便利のため	病院や福祉施設へのアクセスがよい	バスや鉄道などの交通の便がよい	親や親族の近くで生活するため	地域や親同士のコミュニティが充実しているため	住宅取得（持ち家・賃貸など）の条件が合ったため	その他
総数	622	133	67	203	85	54	50	45	17	21	113	8	102	34
同居	108	36	12	39	9	10	9	6	0	3	17	2	14	2
隣居	91	26	17	45	2	3	4	0	0	0	14	0	3	1
近居(15分程度)	255	67	35	94	14	16	16	19	10	11	71	4	44	5
それ以外	168	4	3	25	60	25	21	20	7	7	11	2	41	26
総数		21.4%	10.8%	32.6%	13.7%	8.7%	8.0%	7.2%	2.7%	3.4%	18.2%	1.3%	16.4%	5.5%
同居		33.3%	11.1%	36.1%	8.3%	9.3%	8.3%	5.6%	0.0%	2.8%	15.7%	1.9%	13.0%	1.9%
隣居		28.6%	18.7%	49.5%	2.2%	3.3%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	3.3%	1.1%
近居(15分程度の距離)		26.3%	13.7%	36.9%	5.5%	6.3%	6.3%	7.5%	3.9%	4.3%	27.8%	1.6%	17.3%	2.0%

⑩転居したきっかけ

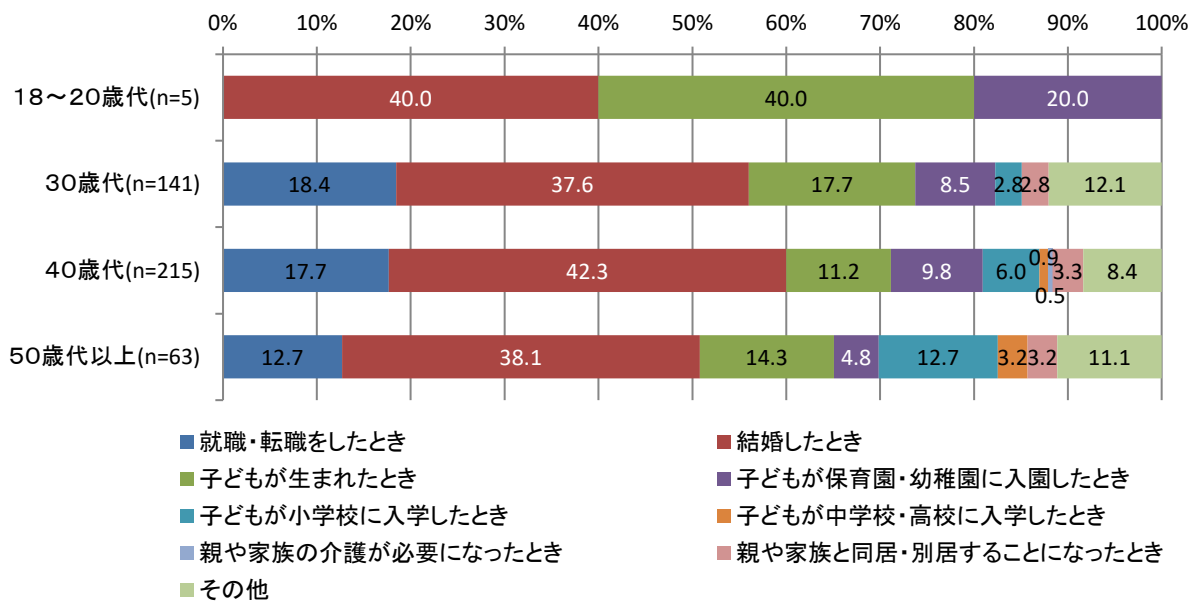
「結婚したとき」が27.3%と最も多く、次いで「就職・転職をしたとき」が11.7%、「子どもが生まれたとき」が9.8%となっている。

18歳～20歳代においては、「結婚したとき」と「子どもが生まれたとき」が40.0%と最も多くなっている。

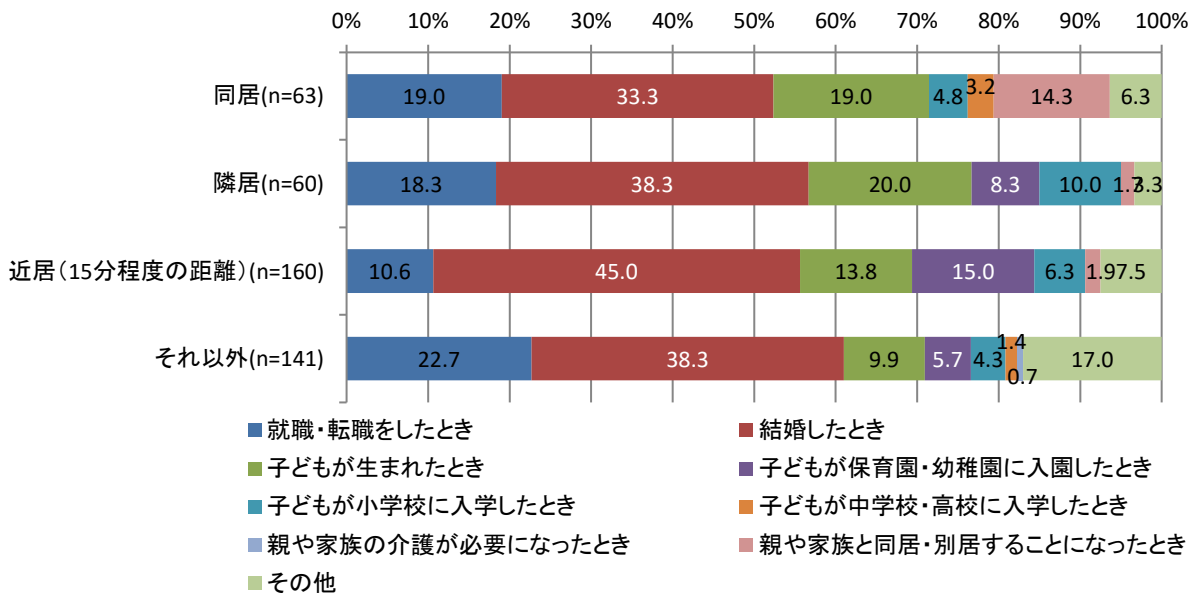
	件数	比率
総数	424	100.0%
就職・転職をしたとき	72	17.0%
結婚したとき	170	40.1%
子どもが生まれたとき	60	14.2%
子どもが保育園・幼稚園に入園したとき	37	8.7%
子どもが小学校に入学したとき	25	5.9%
子どもが中学校・高校に入学したとき	4	0.9%
親や家族の介護が必要になったとき	1	0.2%
親や家族と同居・別居することになったとき	13	3.1%
その他	42	9.9%



■年齢別



■親との居住状況別

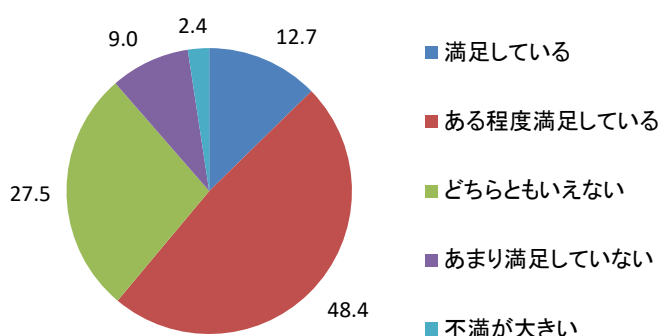


⑫ 今の子育て環境に満足しているか

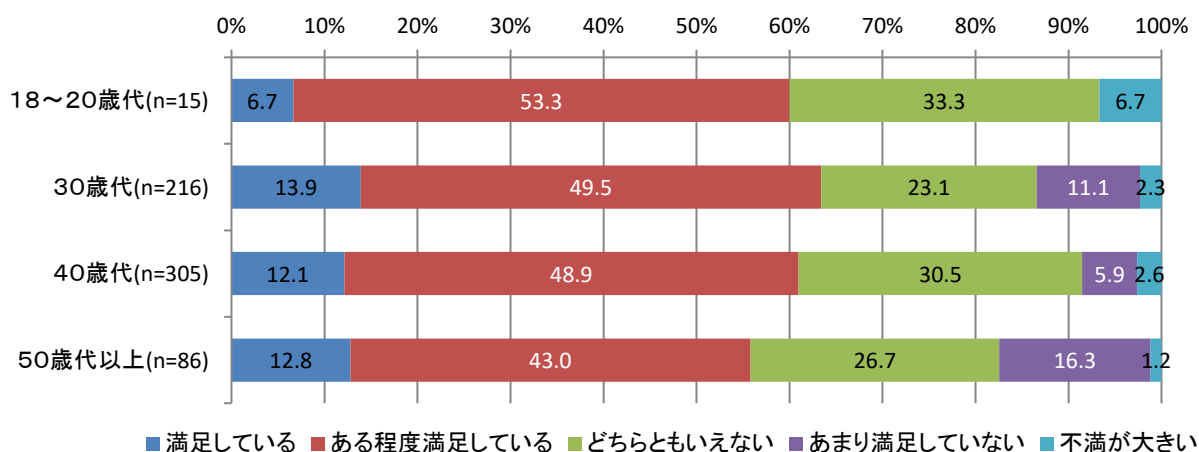
「ある程度満足している」が48.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が27.5%、「満足している」が12.7%、「あまり満足していない」が9.0%となっており、満足が61.1%となっている。

また、夫婦どちらかより、夫婦ともに子育てをしている人の方が不満の割合が少なくなっている。

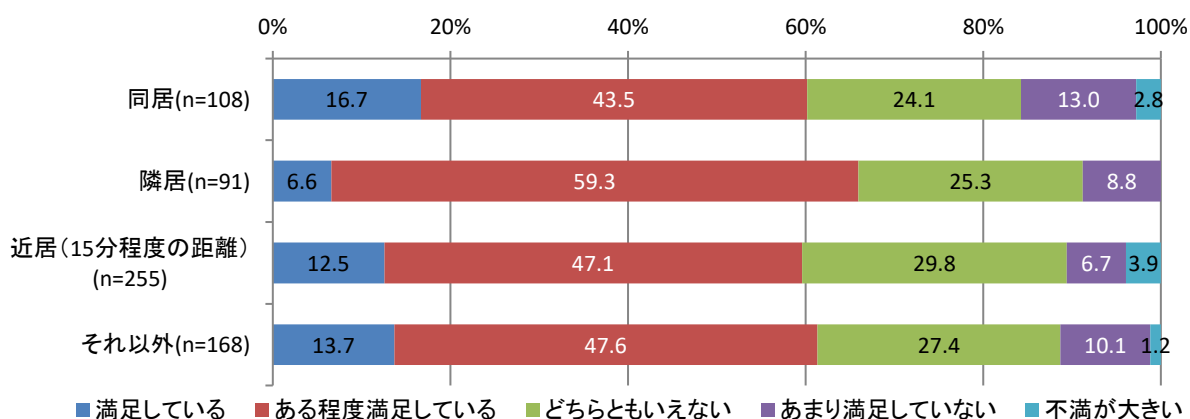
	件数	比率
総数	622	100.0%
満足している	79	12.7%
ある程度満足している	301	48.4%
どちらともいえない	171	27.5%
あまり満足していない	56	9.0%
不満が大きい	15	2.4%



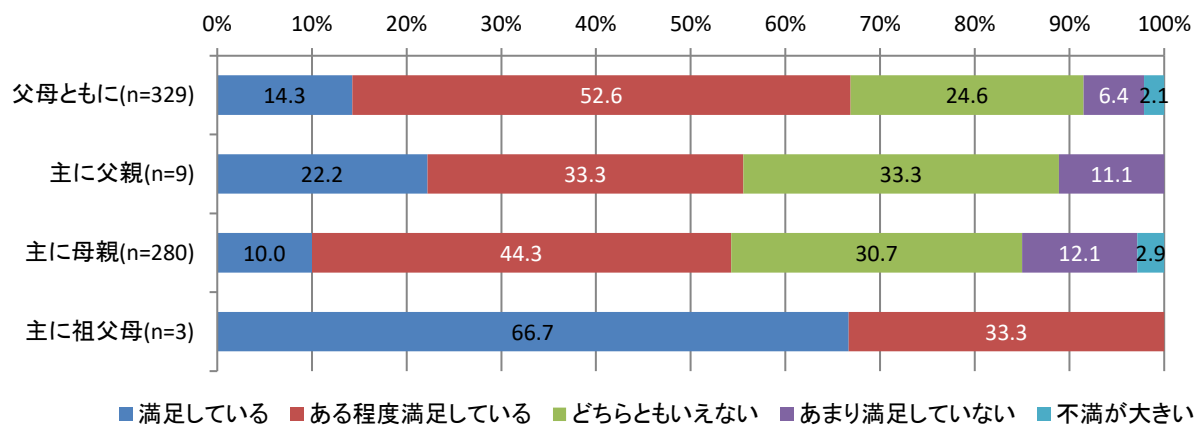
■年齢別



■親との居住状況別



■子育ての主体別



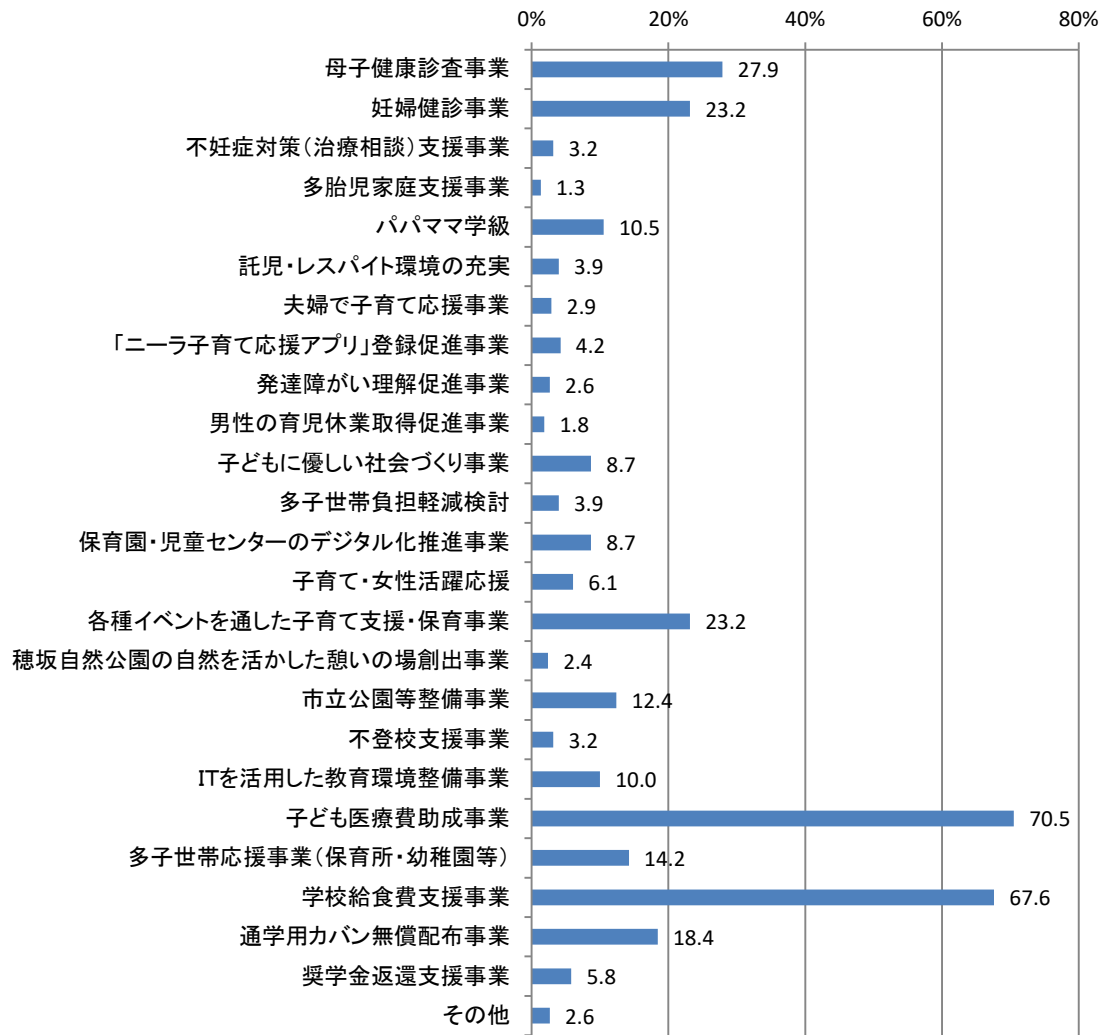
⑬ 満足している子育て支援策

「子ども医療費助成事業」が70.5%と最も多く、次いで「学校給食費支援事業」が67.6%、「母子健康診査事業」が27.9%、「妊婦健診事業」「各種イベントを通した子育て支援・保育事業」が23.2%となっている。

		件数	比率
	総数	380	100.0%
出産支援	母子健康診査事業	106	27.9%
	妊婦健診事業	88	23.2%
	不妊症対策(治療相談)支援事業	12	3.2%
	多胎児家庭支援事業	5	1.3%
	パパママ学級	40	10.5%
子育て応援	託児・レスパイト環境の充実	15	3.9%
	夫婦で子育て応援事業	11	2.9%
	「ニーラ子育て応援アプリ」登録促進事業	16	4.2%
	発達障がい理解促進事業	10	2.6%
	男性の育児休業取得促進事業	7	1.8%
	子どもに優しい社会づくり事業	33	8.7%
	多子世帯負担軽減検討	15	3.9%
	保育園・児童センターのデジタル化推進事業	33	8.7%
	子育て・女性活躍応援	23	6.1%
(遊び場・教育) 子育て応援	各種イベントを通した子育て支援・保育事業	88	23.2%
	穂坂自然公園の自然を活かした憩いの場創出事業	9	2.4%
	市立公園等整備事業	47	12.4%
	不登校支援事業	12	3.2%
	ITを活用した教育環境整備事業	38	10.0%
関係 子育て支援助成	子ども医療費助成事業	268	70.5%
	多子世帯応援事業(保育所・幼稚園等)	54	14.2%
	学校給食費支援事業	257	67.6%
	通学用カバン無償配布事業	70	18.4%
	奨学金返還支援事業	22	5.8%
	その他	10	2.6%

<その他>

にらちび、ミアキス



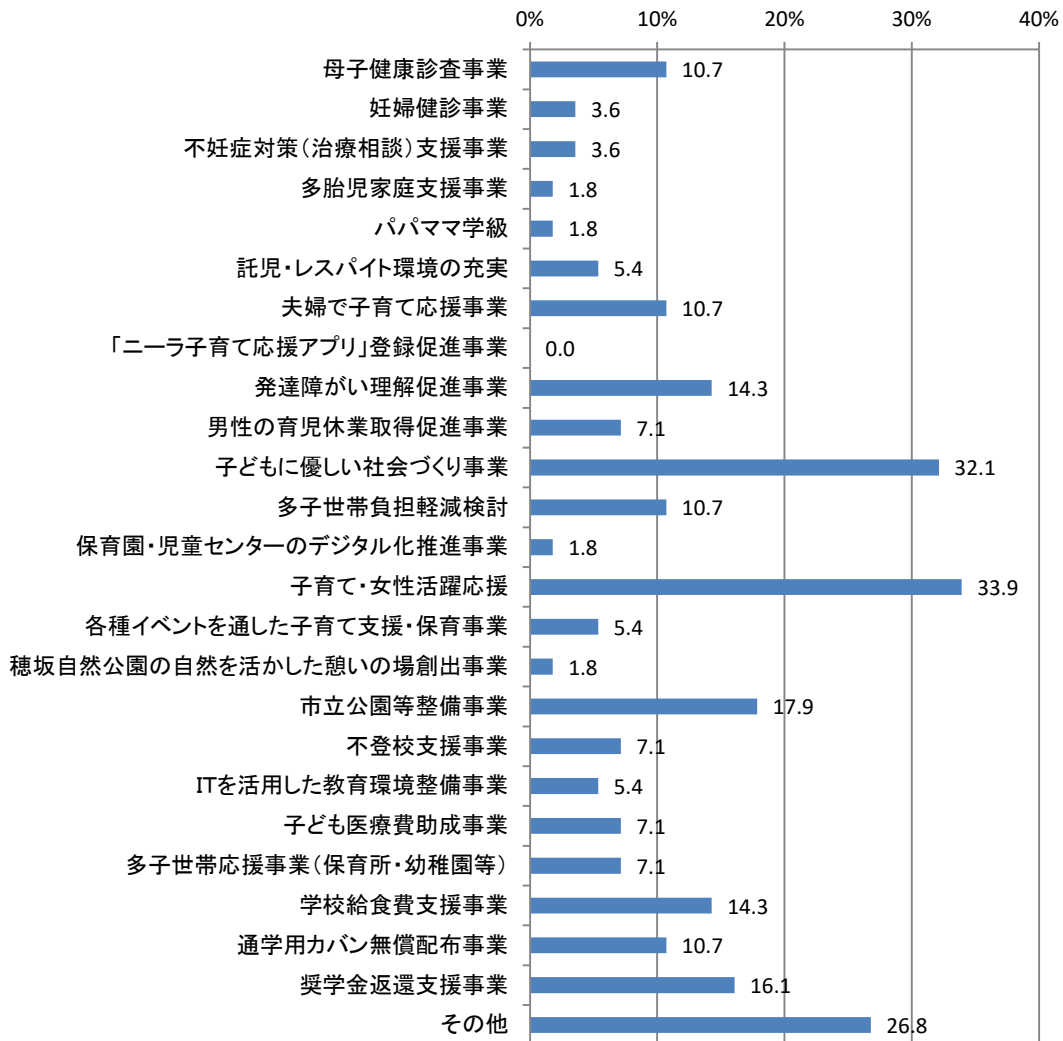
⑭ 不満を感じている子育て支援策

「子育て・女性活躍応援」が 33.9%と最も多く、次いで「子どもに優しい社会づくり事業」が 32.1%、「その他」が 26.8%、「市立公園等整備事業」が 17.9%となっている。

		件数	比率
	総数	56	100.0%
出産支援	母子健康診査事業	6	10.7%
	妊婦健診事業	2	3.6%
	不妊症対策(治療相談)支援事業	2	3.6%
	多胎児家庭支援事業	1	1.8%
	パパママ学級	1	1.8%
子育て応援	託児・レスパイト環境の充実	3	5.4%
	夫婦で子育て応援事業	6	10.7%
	「ニーラ子育て応援アプリ」登録促進事業	0	0.0%
	発達障がい理解促進事業	8	14.3%
	男性の育児休業取得促進事業	4	7.1%
	子どもに優しい社会づくり事業	18	32.1%
	多子世帯負担軽減検討	6	10.7%
	保育園・児童センターのデジタル化推進事業	1	1.8%
	子育て・女性活躍応援	19	33.9%
(遊び場・教育)	子育て応援		
	各種イベントを通じた子育て支援・保育事業	3	5.4%
	穂坂自然公園の自然を活かした憩いの場創出事業	1	1.8%
	市立公園等整備事業	10	17.9%
	不登校支援事業	4	7.1%
関係	ITを活用した教育環境整備事業	3	5.4%
	子ども医療費助成事業	4	7.1%
	多子世帯応援事業(保育所・幼稚園等)	4	7.1%
	学校給食費支援事業	8	14.3%
	通学用カバン無償配布事業	6	10.7%
	奨学金返還支援事業	9	16.1%
	その他	15	26.8%

<その他>

保育料、教育の質、子どもの居場所づくり



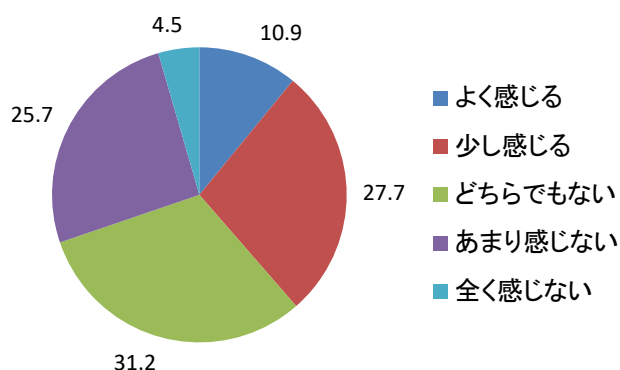
⑮ 地域の子育て世代同士や住民とのつながりを感じているか

「どちらでもない」が31.2%と最も多く、次いで「少し感じる」が27.7%、「あまり感じない」が25.7%、「よく感じる」が10.9%となっている。

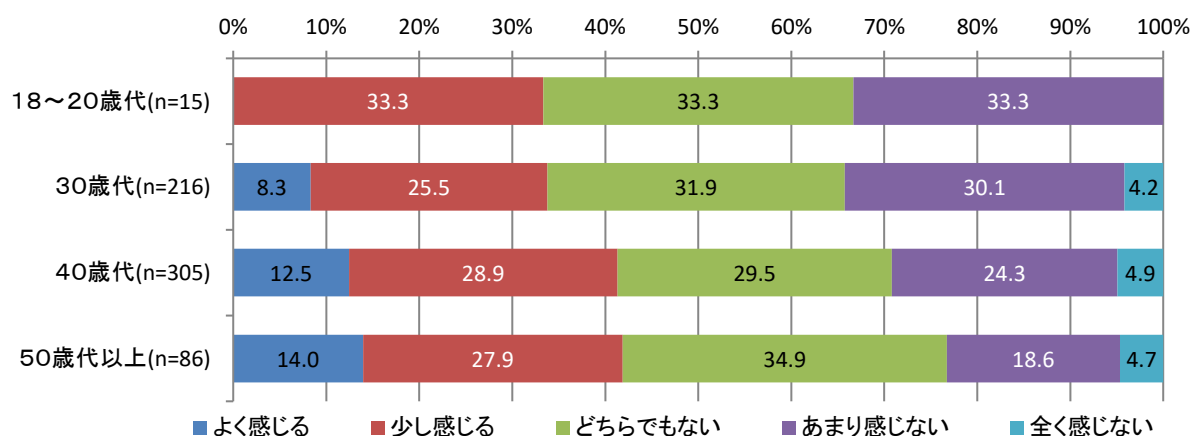
年齢が上がるにつれて、世代同士や住民とのつながりを感じている人の割合が多くなっている。

また、子育ての主体別では、父親が子育ての主体の人の方が、つながりを感じている割合が多くなっている。

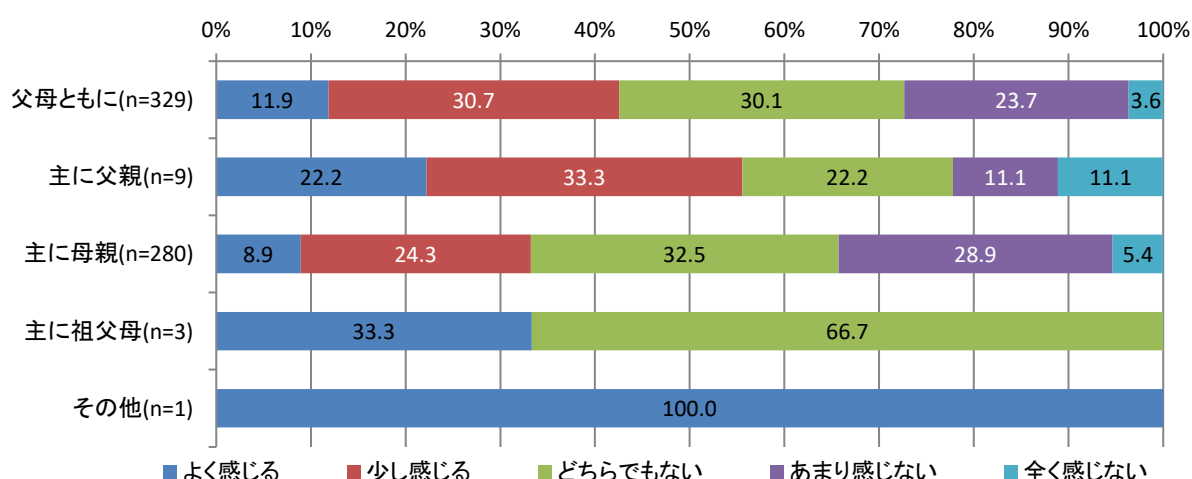
	件数	比率
総数	622	100.0%
よく感じる	68	10.9%
少し感じる	172	27.7%
どちらでもない	194	31.2%
あまり感じない	160	25.7%
全く感じない	28	4.5%



■年齢別



■子育ての主体別

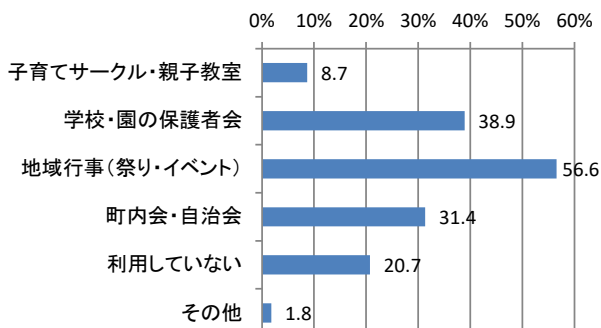


⑩ 地域の交流の場・仕組みで利用しているもの

「地域行事(祭り・イベント)」が 56.6%と最も多く、次いで「学校・園の保護者会」が 38.9%、「町内会・自治会」が 31.4%、「利用していない」が 20.7%となっている。

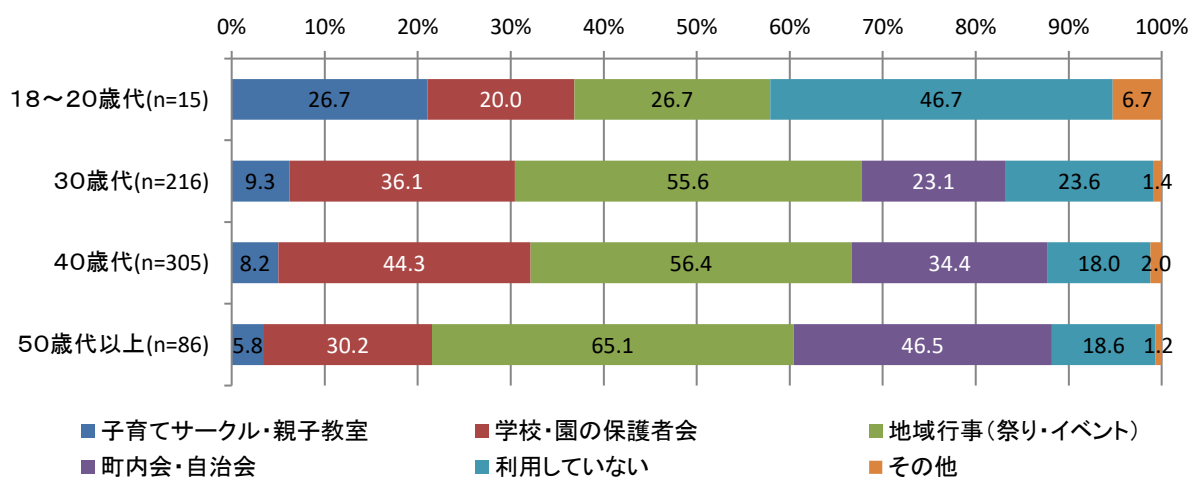
20歳代は交流の場や仕組みを「利用していない」が46.7%と最も多いが、年代が上がるにつれて「地域行事(祭り・イベント)」で交流している人の割合が増えている。

	件数	比率
総数	622	100.0%
子育てサークル・親子教室	54	8.7%
学校・園の保護者会	242	38.9%
地域行事(祭り・イベント)	352	56.6%
町内会・自治会	195	31.4%
利用していない	129	20.7%
その他	11	1.8%



<その他> 子育て支援センター、地域の子どもクラブ・スポーツ少年団

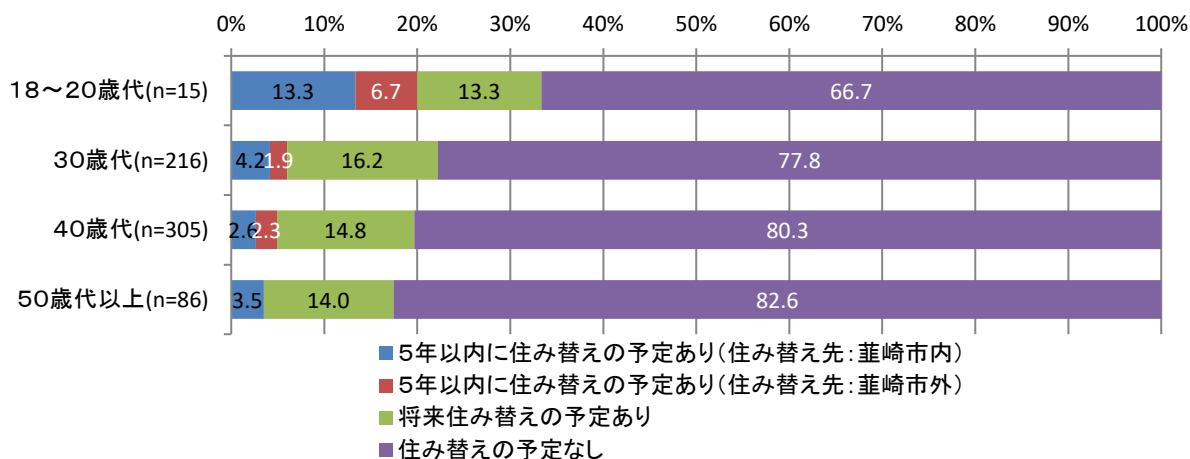
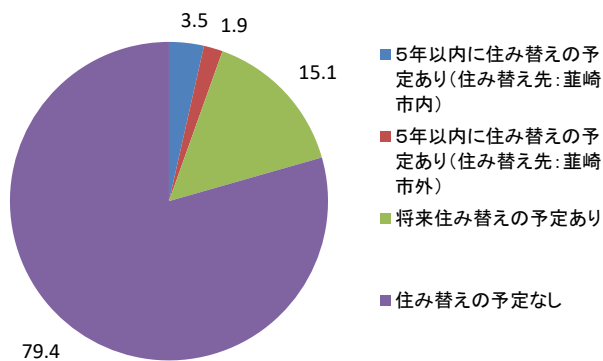
■年齢別



⑰ 今後の住み替え予定

「住み替えの予定なし」が79.4%と最も多く、次いで「将来住み替えの予定あり」が15.1%、「5年以内に住み替えの予定あり(住み替え先: 蕪崎市外)」が1.9%、「5年以内に住み替えの予定あり(住み替え先: 蕪崎市外)」が3.5%となっている。

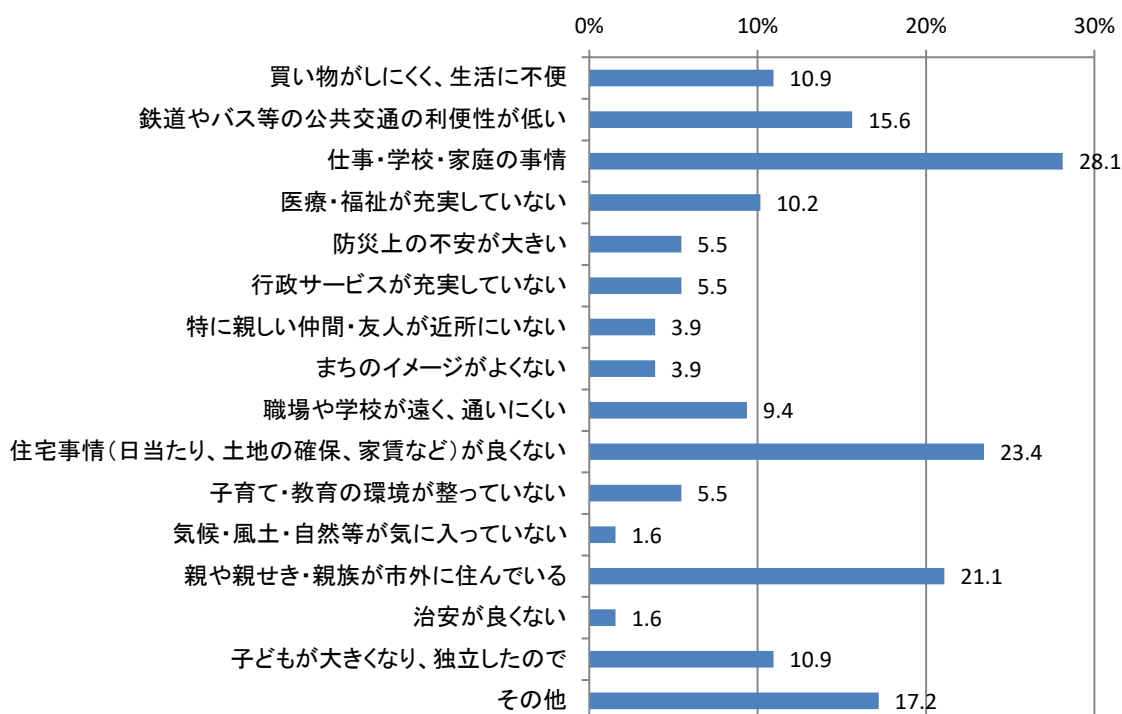
	件数	比率
総数	622	100.0%
5年以内に住み替えの予定あり (住み替え先: 蕪崎市外)	22	3.5%
5年以内に住み替えの予定あり (住み替え先: 蕪崎市外)	12	1.9%
将来住み替えの予定あり	94	15.1%
住み替えの予定なし	494	79.4%



⑱ 転居したい理由

「仕事・学校・家庭の事情」が28.1%と最も多く、次いで「住宅事情(日当たり、土地の確保、家賃など)が良くない」が23.4%、「親や親せき・親族が市外に住んでいる」が21.1%、「その他」が17.2%となっている。

	件数	比率
総数	128	100.0%
買い物がしにくく、生活に不便	14	10.9%
鉄道やバス等の公共交通の利便性が低い	20	15.6%
仕事・学校・家庭の事情	36	28.1%
医療・福祉が充実していない	13	10.2%
防災上の不安が大きい	7	5.5%
行政サービスが充実していない	7	5.5%
特に親しい仲間・友人が近所にいない	5	3.9%
まちのイメージがよくない	5	3.9%
職場や学校が遠く、通いにくい	12	9.4%
住宅事情(日当たり、土地の確保、家賃など)が良くない	30	23.4%
子育て・教育の環境が整っていない	7	5.5%
気候・風土・自然等が気に入っていない	2	1.6%
親や親せき・親族が市外に住んでいる	27	21.1%
治安が良くない	2	1.6%
子どもが大きくなり、独立したので	14	10.9%
その他	22	17.2%



⑱ 他の地域と比べて蕪崎市はどのような市だと思うか

カテゴリー	件数
子育て支援・教育関連	122
交通・アクセス・インフラ	55
自然環境・住みやすさ	87
商業・利便性	80
地域交流・イベント	21
行政・制度・財政	21
その他	95

<主な意見>

●子育て支援・教育関連

- ・子育て世代の家庭への支援が他の市に比べて行き届いていると思う
- ・子育て支援に充実している
- ・給食の無償化はありがたい、学校給食はオーガニックを推進していて大変良い

●交通・アクセス・インフラ

- ・交通の便が悪く買い物をするにも通学するのも不便
- ・道が悪い。駐車場がない
- ・駅周辺や国道 141 号線沿いは人も多くて便利

●自然環境・住みやすさ

- ・自然が豊かな街、自然と街がちょうど良くある市
- ・コンパクトに医療福祉がまとまっていて住みやすい
- ・ほどよい田舎で住みやすい

●商業・利便性

- ・駅の周辺は便利かもしれないが、少し離れたらとても不便
- ・商業施設(様々な施設や病院)がコンパクトにまとまっているため生活しやすい
- ・自然の豊かさと便利さが共存する街、自然豊かだが、ショッピングモールなども程よくあるので、便利

●行政・制度・財政

- ・地域の民生委員や児童相談員の働きが見えない、子育てや福祉に関して行政の働きを改善
- ・市長も地域活性化に向けて色々な取り組みをしてくださっていて大変感謝
- ・子育て支援政策が不十分、子供が多い家庭が良いと感じる制度や対応がない

●地域交流・イベント

- ・地域スポーツに種類を増やして欲しい
- ・イベントやお祭りが多い
- ・東京エレクトロンホールが、音もよく設備も綺麗で快適に利用でき、子供達の行事にもとてもいいと思う

⑳ 子育てをするうえで市に望むこと

カテゴリー	件数
教育・学習環境	110
経済的支援・金銭的負担軽減	89
遊び場・施設の充実	69
交通・通学安全	66
子育て支援サービス	62
地域活性化・住環境	25
医療・健康支援	23
安全・治安対策	18
障害児・不登校支援	15
その他	61

<主な意見>

●経済的支援・金銭的負担軽減

- ・子育て世帯をもっと手厚く、非課税世帯以外の税金を払っている子育て世帯でも手当、給付金などの制度がほしい
- ・子供ともっと長い時間一緒にいたいと思う人やもう1人産みたいと思う人の気持ちが報われる環境が整うことを期待

●教育・学習環境

- ・学業、部活において活動しやすい環境をつくってほしい。学生の体育館テニスコート使用無料など
- ・子どもたちの希望が叶いやすい教育環境を整えていただけるとありがたい

●医療・健康支援

- ・韮崎市立病院の小児科が午後受診できなかつたり、入院ができなくて大変困っています
- ・歯科矯正医療費の補助や負担(学校の検診で必要と見なされた場合)

●交通・安全

- ・街灯を増やしたり、歩道の整備など、安心して暮らせる環境を整えること
- ・工業団地が出来た事で渋滞が凄く驚いた。高速利用者と工業団地などへの往来が増え、通学時間の調整に不安も多い

●遊び場・施設の充実

- ・気軽に行ける小さな公園や、子どもが遊べる室内の場所をつくってほしい
- ・公園やプールなど、子どもたちが遊びやすい施設の充実

●子育て支援サービス

- ・支援センターの維持をぜひお願いします
- ・病児保育の予約なし利用の改善

●安全(通学)・治安対策

- ・子供が安心安全に通学出来る歩道の整備
- ・下校の見守りがもう少しあると助かります

●地域活性化・住環境

- ・地域の人達が親切
- ・人と人の繋がりが広まるように大切に考えてほしい

●障害児・不登校支援

- ・フリースクールがあるといい
- ・発達障害児の相談機会を増やしてほしい